

施策15	文化・歴史の継承と観光振興	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)
		関係部長(課)	

1 施策目標

江東区の目指す姿									
歴史や伝統・芸術文化などが次世代に継承されるとともに、身近に親しめる機会が確保されています。また、情報発信を強化するとともに、魅力的な観光資源を発掘・開発することで、区内外から多くの観光客が訪れるまちが実現しています。									
施策実現に関する指標(代表指標)									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合	%	74.2	74.0	75.8	71.3			80	文化観光課
指標選定理由	魅力的な観光資源の発掘・開発を推進するなど、区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆まちなかにある既存の観光資源が、SNS等ソーシャルメディアの普及により掘り起こされ、地域の魅力の再発見に繋がっている。今後は、千客万来施設の開業や移築が進められている旧渋沢家住宅の一般公開を契機とした観光推進施策の実施、並びに、区の魅力的な観光資源である河川や運河を活用した観光施策を推進し、その魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していく必要がある。							
	*								
施策コストの状況									
種別	4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト	1,346,525千円	1,214,914千円	1,169,246千円	1,343,659千円					
事業費	1,264,925千円	1,143,938千円	1,101,513千円	1,257,671千円					
人件費	81,600千円	70,976千円	67,733千円	85,988千円					
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)									
◆平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化財の保護や文化芸術の振興などこれまでの文化芸術政策を更に充実しつつ、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の関連分野における施策を取り込み、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用させるとしている。									
◆都は、令和4年3月に「東京文化戦略2030」を策定。目指す東京都の姿を「芸術文化で躍動する都市東京」と定め、誰もが身近に芸術文化に触れる環境を整備し、楽しむ、発見する、育てる、創造する好循環により東京が躍動し、都民の生活が豊かになることを目指すとしている。									

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	伝統文化の保存と継承
主な取組	文化財の保護及び地域への文化財の周知・普及の推進
取組内容	◆地域に残された文化遺産を調査し、文化財として保護していくとともに、区民まつりにおける民俗芸能大会や伝統工芸展の開催を通じて、区の文化財の周知・普及を図る。また、「震災100年」を記念した、他部署の事業への協力や、移築が進む「旧渋沢家住宅」の公開に合わせ、パネル展や動画配信などを展開していく。
主な実施事業	文化財保護事業、文化財公開事業、歴史文化施設管理運営事業
取組方針2	芸術・文化活動の支援
主な取組	発表活動の支援と次世代育成
取組内容	◆文化施設における展示ロビーの貸し出しや江東公会堂ホールでの「マイ・ステージ」事業等、区内活動団体及び個人の発表活動を後押し、区民が芸術文化に親しむ機会を提供する。 ◆芸術提携団体の楽団員による区立中学校吹奏楽部員への楽器指導や、同じく芸術提携団体のバレエ団が小学4年生から高校生までを対象に江東公会堂にてバレエ教室を開催する。
主な実施事業	江東公会堂管理運営事業
取組方針3	地域資源を活用した観光振興
主な取組	魅力的な観光資源の発掘ならびに周知の推進
取組内容	◆区内観光スポットを周遊する「謎解きスタンプラリー」の実施や千客万来施設の開業等に際し、観光協会や関係部署と連携しながら国内外の観光客を誘客するための観光施策を着実に進めていくとともに、区の魅力的な観光資源である河川や運河を活用した観光施策を推進し、その魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していく。
主な実施事業	観光推進事業、観光イベント事業、江東区観光協会運営補助事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	伝統文化の保存と継承	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
文化財保護推進協力員と協働し、江戸時代以降に花開いた伝統文化や文化財を保護するとともに、講習会・講演会の開催等区内外へのPR や小中学校との連携などにより、区と区民が一体となって伝統文化の継承及び後継者の育成に取り組みます。また、伝統文化保存団体の活動の支援と、伝統文化を披露する場の充実により、区民が伝統文化に親しめる環境を整備します。さらに、芭蕉記念館、深川江戸資料館、中川船番所資料館については、施設の魅力を高めるために資料の充実や展示方法の工夫、多言語化等の取り組みを進めます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
伝統文化公開事業の延べ参加者数		人	9,247 (30年度)	5,565	5,773	8,070			12,000	文化観光課
指標選定理由		伝統文化に親しめる環境の整備など、区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆コロナ渦の中、イベントや施設の一般公開の制限を実施したため、2、3年度は、参加者数が大きく減少したが、4年度は、イベントを中止することなく開催することができたことから、参加者数が大幅に増加した。								
	*									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		721,536千円	665,274千円	410,709千円	410,326千円					
事業費		687,338千円	635,604千円	380,732千円	383,581千円					
人件費		34,198千円	29,670千円	29,977千円	26,745千円					
成果と課題										
◆少子高齢化等の社会状況の変化を背景に無形文化財や伝統芸能において、後継者育成や適切な専門的人材の確保などが困難になっており、課題となっている。										
◆コロナ禍における「新しい生活様式」に沿ったイベント開催により、参加者数は増加したが、有形・無形の文化財を観光に生かしつつ、文化財保護の担い手を確保していくためには、地域社会全体で伝統文化の保存と継承に取り組んでいくことのできる体制づくりが必要である。										

取組方針2	芸術・文化活動の支援	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
芸術文化団体の活動を支援するとともに、江東公会堂や地域の文化センターなどを活用し、区民ニーズに合った芸術文化事業を企画、誘致します。また、プロによるアマチュア指導の機会を設けるなど、次世代の芸術の担い手を育成していくとともに、区民が自然に芸術文化活動に親しめる様々なきっかけづくりに取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東区文化施設における発表活動の実施件数		回	377 (30年度)	156	215	229			420	文化観光課
指標選定理由		芸術文化活動に親しめる環境の整備など、区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、展示ロビーでの発表活動や街かどアーティストを派遣する事業の活動数が伸び悩んでいる。								
	*									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		383,118千円	340,542千円	467,397千円	569,972千円					
事業費		375,121千円	333,580千円	459,526千円	549,492千円					
人件費		7,997千円	6,962千円	7,871千円	20,480千円					
成果と課題										
◆新型コロナウイルス感染症の影響による制約の中でも、感染症対策を講じた上で、江東区文化センターロビーでの「プロムナードコンサート」等、区内活動団体及び個人の発表活動を支援した。										
◆地域の文化センター・江東公会堂のスペースや設備を活用した事業を充実させ、区民が芸術文化活動に親しみやすい環境づくりを着実に進めていく。										

取組方針3	地域資源を活用した観光振興	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
<p>歴史・文化、水辺、スポーツ、食、アート、商店街、人といった本区の持つ魅力を活かしながら、江東区観光協会を中心に官民連携の下、新たな観光資源の開発に取り組みます。また、本区の各エリアが持つ特徴的な観光資源を多様な媒体を活用して国内外に広く発信するとともに、観光キャラクターの活用など様々な手法で誘客を図ります。さらに、豊洲市場や千客万来施設、東京2020大会のレガシーなど新たな観光資源との連携や、観光人材の養成・活用により、国内外の観光客に対するおもてなしの強化を図るとともに、近隣自治体等と連携した効率的・効果的な観光振興を進めます。</p>										
指標										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	観光ガイドの案内者数	人	4,988 (30年度)	718	1,265	2,046			6,000	文化観光課
	指標選定理由	観光人材の活用により、効率的・効果的な観光振興に対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらガイド事業を実施することができたものの、まだコロナ禍であったということもあり、観光ガイドの利用が伸び悩んだ。								
	*									
取組コストの状況										
	種別	4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
	トータルコスト	241,871千円	209,098千円	291,140千円	363,361千円					
	事業費	202,466千円	174,754千円	261,255千円	324,598千円					
	人件費	39,405千円	34,344千円	29,885千円	38,763千円					
成果と課題										
<p>◆新型コロナウイルスの影響による制約の中でも、感染症対策を講じた上で、観光PRイベントへの出展等を通し、観光振興を推し進めることができた。近隣自治体等と連携して実施したイベントも多く、効率的かつ効果的な取り組みができています。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症対策が緩和されてきた今、インバウンドも復調してきている。また、令和6年2月に豊洲市場に千客万来施設が開業することもあり、観光協会とともに国内外の観光客を誘客するための観光施策を着実に進めていく。</p> <p>◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用した観光施策が課題となっている。その特長的な観光資源を活用した観光施策に取り組むとともに、新たな観光資源の発掘・開発を進め、本区の魅力を広く発信していく。</p>										

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆コロナ禍においても感染対策を講じた上で、事業内容に工夫を凝らし、伝統文化の継承や芸術文化の推進、そして観光施策に向けた取り組みを着実に実施することができた。
今後の方向性	<p>◆本区の強みを活かした、質の高い伝統・芸術文化に触れる・参加する機会を提供するほか、その価値や取り組みについて、区民へのPRに努めるとともに、区内外への情報発信をさらに進めていく。</p> <p>◆区内観光スポットを周遊する「謎解きスタンプラリー」の実施や千客万来施設の開業等に際し、観光協会や関係部署と連携しながら国内外の観光客を誘客するための観光施策を着実に進めていくとともに、まだ知られていない区内の魅力的な観光資源の発掘・開発を推し進める。</p>

5 外部評価委員会による評価

(令和4年度外部評価実施済施策)

6 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	<p>◆指標については、主にコロナ禍におけるイベント開催の制限等により、計画策定時の現状値から低下している。</p> <p>◆行政サービスの再開に伴い、施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
実現に向けた取り組み	<p>◆文化財や伝統文化について知らない南部の住民を対象に歴史や文化の普及啓発を行うなど、文化財保護推進協力員との協働や小中学校との連携等により、広く区民が伝統文化に親しめる環境を整備する。</p> <p>◆引き続き、新たな観光資源の開発に引き続き取り組むとともに、それらの資源の観光振興への結びつけについて、近隣自治体と連携しながら戦略立て、区内外から多くの観光客が訪れる魅力あるまちの実現を図る。</p> <p>◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用し、水辺の魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していくとともに、舟運の観光への活用を検討する。</p>